

第2学年国語科学習指導案

単元名 「人物の特徴をとらえて論じよう」～根拠を明らかにして書く～

教材 「扇の的一『平家物語』から」(光村図書「国語2」)

1 単元について

佐賀県の中学2年生の実態として、平成23年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から「書くこと」に課題が多いことが分かっている。特に「取り上げた事実や事柄、課題について自分の考えを明確にして書く」ことを問う設問では無解答率が他の設問を大きく上回っており、課題である。自分の考えの形成やそれを明確に記述することについては特に留意して指導に当たると考える。

本単元では、「書くこと」の学習に重点を置き、古典に描かれた登場人物の人柄や性格について論じる文章「人物論」を書かせることを言語活動として設定する。この言語活動を通して、読み取った情報を整理し、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる力や記述する力を身に付けさせたい。

本教材は、平家と源氏の両軍が見守る中で、源氏方である東国の若武者「那須与一」が、風にひらめくはるかかなたの扇の的を見事に射落とす場面である。そこには、与一の弓術の見事さと、味方の名誉のために命を懸けて挑んだ悲壮な心境が描かれている。また、戦のさなかにこうした競技を仕組む平家の風流な心、すばらしい技には敵味方を超えて賞賛を惜しまない武士たちの態度も浮き彫りにされている。しかし、義経の命令により、与一の腕に感動して舞を舞った老武者が射倒されることで、場面は一転して非情な戦場に引き戻される。

また、これに続く場面には、敵に囲まれた状況の中で自分の弓を命がけで拾い上げる義経の姿が描かれている。そこには大将としての意地や誇りが表されている。生徒はそのような場面における登場人物の心情を読み取ることで、昔の人のものの見方や考え方に触れることができると考える。

生徒は、直前の単元で、「平家物語」の冒頭部分と、本単元と同じ教材「扇の的一『平家物語』から」を用いて、伝統的な言語文化に関する事項ア(ア)についての学習に取り組んでいる。冒頭部分の暗唱を通して「平家物語」の独特なリズムや世界観を味わい、扇の的的部分では音読を通して場面の状況や物語の展開などを読み取っており、「平家物語」の作品の概要や、扇の的の場面の大体的内容を理解している。また、根拠を明確にして書くことについては、第1学年「書くこと」の指導事項ウに明示されており、これを受けて、第2学年では、根拠と理由付けと主張を明確に認識して、論理的な文章を書くことを指導したい。

指導に当たっては、まず、生徒がよく知る漫画の登場人物の「人物論」を書くモデル学習を通して、本単元における学習課題と学習方法、学習計画等を確認させ、見通しをもたせる。そして、扇の的の場面の登場人物の言動など、人柄や性格が分かる表現に着目させ、読み取った情報を整理・分析し、一人の登場人物についての「人物論」を書かせる。書いた「人物論」は、人物ごとにグループで交流させて登場人物の人柄や性格について考えを深めさせるとともに、根拠を明らかにして書くことについての知識・技能を確かなものにさせたい。

2 単元の目標

- (1) 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書くことができる。(書くこと)
- (3) 登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもつことができる。
(読むこと)
- (4) 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元の言語活動

「平家物語」の一場面を読み、登場人物の人柄や性格について、根拠を明らかにして「人物論」を書く。(関連：言語活動例B(2)イ、C(2)ア)

4 単元の評価規準 ()内は該当する指導事項等の記号

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとしている。	①登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書いている。(ウ)	①登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもっている。(エ)	①作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。(1)ア(イ)

5 指導と評価の計画 (全4時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	<p>1 漫画の登場人物について「人物論」を書き、モデル学習をする。</p> <p>2 学習課題を確認する。 扇の的の場面の登場人物について「人物論」を書くことを通して、根拠を明らかにして自分の考えをもったり書いたりする力を身に付けよう。</p> <p>3 扇の的の場面で「人物論」を書くための学習計画を確認する。</p>	<p>○根拠が同じでも理由付けが違えば、人物像が異なることを確認させる。</p> <p>○必要な情報を整理・分析し、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる力を身に付けることを確認する。</p> <p>○「人物論」を書くために必要な活動を確認し、学習計画表を提示して本単元の学習について見通しをもたせる。</p>	<p>【国語への関心・意欲・態度】① ワークシート①</p>
二	2	<p>4 「人物論」を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。</p> <p>5 扇の的の場面を読んで、自分が選んだ登場人物の特徴が分かる部分を探す。</p> <p>6 「人物論」を書くために読み取った内容から、選んだ人物の人柄や性格について考える。</p>	<p>○登場人物を確認させる。</p> <p>○人柄や性格が分かる言動などに着目させる。 ○原文だけでなく、現代語訳やあらすじが書かれた部分も参考にさせる。</p> <p>○読み取った内容をワークシート②にまとめ、選んだ人物の人柄や性格を考えさせる。</p>	<p>【読む能力】① ワークシート②</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】① ワークシート②</p>

	3	<p>7 選んだ人物の人柄や性格について，根拠を明らかにして「人物論」を書く。</p>	<p>○モデル学習を参考にさせる。</p> <p>○根拠，理由付け，主張を確認させて書くように指示する。</p> <p>○ワークシート②を利用させる。</p>	<div data-bbox="1062 147 1423 293" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【国語への関心・意欲・態度】① ワークシート③</p> </div> <div data-bbox="1062 327 1423 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【書く能力】① ワークシート③</p> </div>
三	4	<p>8 書き上げた「人物論」を読み合い，感想を交流する。</p> <p>9 単元の学習を振り返る。</p>	<p>○他の人の作品を読ませることで，登場人物の言動の意味や思い，人物像等について考えを深めさせたり，広げさせたりする。</p> <p>○身に付けた力を考えさせる。</p>	<div data-bbox="1062 488 1423 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【言語についての知識・理解・技能】① 自己評価表</p> </div>

6-1 1/4の指導計画

(1) 目標

- ・ 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとする。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 漫画「ドラえもん」の登場人物紹介の文章を読んで、なぜそのような紹介内容になるのか考える。 2 本時の目標を知る。	資料①	○漫画「ドラえもん」の登場人物紹介を配布し、これを手掛かりに、人物の特徴をどのような点に着目して捉えているのか考えさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こう </div>
展開	3 漫画「ドラえもん」の登場人物について、根拠を明らかにして人柄や性格についてまとめるモデル学習をする。 [手順] 1) 記入例を手掛かりに、「人物論」の書き方の手順を見通す。 2) 「人物論」を書く登場人物を選ぶ。 3) 登場人物の特徴が分かる言動などから、その人柄や性格を考える。 4) 2～3名の作品を発表して交流する。 4 身に付けたい力と学習課題を知り、学習計画を確認する。 [学習課題] <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 扇の的の場面の登場人物について「人物論」を書くことを通して、根拠を明らかにして自分の考えをもったり書いたりする力を身に付けよう。 </div>	資料② ワークシート① 記入例 ワークシート① 学習計画表	○漫画「ドラえもん」から1話を取り上げて資料として配布し、学習に対する興味・関心を喚起する。 ○「主張」「根拠」「理由付け」という視点で人物論を書くことを知らせる。 ○根拠が同じでも、理由付けが違えば人物像の捉え方が違うことを、記入例で具体的に説明する。 ○いくつかの場面に注目させ、自分が書きやすい人物を選ばせる。 ○根拠が同じでも、理由付けが違えば人物像の捉え方が違うことを、発表された作品で確認する。 ○扇の的の場面の登場人物について「人物論」を書くことを確認する。 ○学習計画表の使い方を説明し、単元の学習の見通しをもたせる。 ○身に付けたい力が身に付いたと感じた時に、その感動と共に根拠を明らかにして最下段に記録することを説明する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> [関①] 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとしている。 【ワークシート①】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ワークシート①の記入例の根拠と理由付けと主張の部分に注目させ、理由付けに納得できるかどうか検討させたり、他の理由付けを考えさせたりする。 </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<p>5 授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入する。</p> <p>6 次時の見通しをもつ。</p>	<p>学習計画表</p>	<p>○「人物論」の書き方が分かったかどうかについて具体的に書かせる。</p> <p>○次時は登場人物の特徴が分かる表現からその人柄や性格を考えることを確認し、見通しをもたせる。</p>	
--	---	--------------	---	--

6-2 2/4の指導計画

(1) 目標

- ・ 登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもつことができる。
- ・ 扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像できる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	○扇の的の場面について、舞台となった時代が歴史的にどのような時代であるか、どのような場面であるかなど既習内容を想起させ、本時の学習の流れを確認する。	
登場人物の人柄や性格がわかる表現を探し、人柄や性格を考えよう				
展開	2 扇の的の場面の登場人物をワークシートに書き出す。 3 「人物論」を書く人物を登場人物の中から一人選ぶ。 4 選んだ人物の、人柄や性格が分かるような表現を探して教材文に線を引く。 5 線を引いた部分から考えられる人柄や性格について、ワークシートにまとめる。 6 選んだ人物の人柄や性格について考えをまとめる。 1) 主張を一文で表す。 2) 根拠を示す。 3) 理由付けをする。 4) グループで意見を出し合い、考えを深める。	ワークシート② ワークシート② 補助資料	○すべての登場人物を挙げさせる。 ○選んだ登場人物について、置かれた状況や言動などに着目するよう指示する。 ○原文だけでなく、現代語訳やあらすじが書かれた部分にも着目させる。 ○「人物論」を書くために選んだ人物の言動の意味を、場面の状況と照らし合わせて考えさせる。 ○他の登場人物との関係なども考えるように伝える。 ○モデル学習を参考にさせる。 ○性格を表す語彙を一覧表にして渡したり、国語辞典や類語辞典を用意したりして考えをまとめる手助けをする。 ○「人物論」を書く登場人物ごとに、4人から6人くらいのグループを編成する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [読①] 登場人物の言動の意味を考え、登場人物の人柄や性格について自分の考えをもっている。 【ワークシート②】 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> [言①] 「平家物語」に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。 【ワークシート②】 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 扇の的の場面の登場人物の言動と生徒の生活経験とを比べさせるなどして考えをまとめさせる。 </div>
まとめ	4 授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入する。 5 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○次時は、「人物論」を書くことを確認し、見通しをもたせる。	

6-3 3/4の指導計画

(1) 目標

- ・ 作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとする。
- ・ 登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表 ワークシート②	○前時にまとめたワークシートの内容を振り返らせ、本時の学習の流れを確認する。	
人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして「人物論」を書こう				
展開	2 前時にまとめたワークシートを基にして、「人物論」を書く。 1) ワークシート②に整理した情報のうち、「主張」、「根拠」、「理由付け」に書いた内容を確認する。 2) ワークシート③に「人物論」を書く。 3) 読み返して推敲する。	ワークシート② ワークシート③ ワークシート①	○登場人物の人柄や性格について、どうしてそのように考えたのか根拠が明らかになっているか確かめさせる。 ○自分が根拠にした事柄と理由付けを明確にして書くように指示する。 ○モデル学習で使用したワークシート①を参考にさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【関①】作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して「人物論」を書こうとしている。 【ワークシート③】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【書①】登場人物の人柄や性格について、相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにして書いている。 【ワークシート③】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>記入例と対照させて、記入例と同じ構成・展開で、書くよう指導する。</p> </div>
まとめ	3 授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入する。 4 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○次時は、グループで「人物論」を読んで評価し合うことを確認し、見通しをもたせる。	

6-4 4/4の指導計画

(1) 目標

扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	○前時までの学習を想起させ、本時の学習の流れを確認する。	
<p>「人物論」を読んでよいところやアドバイスを交流し、身に付けた力について考えよう</p>				
展開	<p>2 書き上げた「人物論」を読み合い、グループでよいところやアドバイスを交流する。</p> <p>3 グループで「人物論」を発表する代表者を1名決める。</p> <p>4 学級で発表し合う。</p> <p>5 自分の「人物論」に貼られた付せんを自己評価表の「よいところ」と「アドバイス」の欄に分けて貼り、さらに、付せんに書かれた内容項目ごとにまとめて貼り変えるなどして整理し、自己評価する。</p>	<p>ワークシート③付せん</p> <p>自己評価表</p>	<p>○グループで読み合わせ、よいところやアドバイスを付せんに書き込ませる。</p> <p>○同じ人物でも捉え方が違っている場合は自分の考えと比べて感想や意見を書かせるようにする。</p> <p>○よいところやアドバイスを書いた付せんは、作品に貼って回すように指示する。</p> <p>○紹介したい理由を明らかにして決めさせる。</p> <p>○いろいろな「人物論」を聞いて考えを広げたり深めたりさせる。</p> <p>○付せんに書かれたよいところやアドバイスを読ませ、自分の書いた「人物論」について振り返らせるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【言①】扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像している。</p> <p>【自己評価表】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>同じ登場人物について書かれた「人物論」に注目させ、何を根拠にしてどんな想像をしているかを比べさせる。</p> </div>
まとめ	6 単元を振り返って学習計画表に「身に付けた力」と「その力を活用できそうな場面」を記入し、学習のまとめをする。	学習計画表	<p>○身に付いた力について考えさせる。</p> <p>○単元の学習活動について教師の評価を伝え、次の単元学習への意欲をもたせる。</p>	